

## 国語「現代の国語」 単元の評価規準

内容のまとめり		単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	A 「話すこと・聞くこと」	○文章をもとに、自分の意見を整理しよう	○比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。(1)カ)	○「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ○「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。(A(1)ウ)	○言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、学習の見通しをもって思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉を効果的に使おうとしている。
		○おすすめの本を分かりやすく紹介しよう	○話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、分かりやすさに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。(1)イ)	○「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。(A(1)ウ)	○聴衆に対する発表を通して、話し言葉の特徴を理解し、相手の理解が得られるよう、表現を粘り強く工夫する中で、自らの学習を調整しようとしている。
(2) 情報の扱い方に関する事項	B 「書くこと」	○情報の妥当性や信頼性を吟味しながら複数の情報を組み合わせて意見文を書こう	○情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。(2)エ)	○「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	○意見文を書くことを通して、情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め、伝えたいことを明確にし、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう根拠の示し方や説明の仕方を粘り強く考える中で、自らの学習を調整しようとしている。
		○情報や資料をもとに、説得力のあるわかりやすい文章を書こう	○文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。(1)オ) ○主張と論拠など情報と情報との関係について理解し使っている。(2)ア)	○「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。(B(1)イ)	○読み手の理解が得られるように説得の材料を選択し、構成や展開を工夫しようとしている。
(3) 我が国の言語文化に関する事項	C 「読むこと」	○論理的な文章の内容や構成、論理の展開について理解し要旨を把握しよう	○主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	○「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。(C(1)ア)	○論理的な文章の要約を通して、主張と論拠との関係について理解し、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え要旨を把握することに向けて粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとしている。
		○同じテーマで観点の異なる文章を比べよう	○実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ) ○実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。(3)ア)	○「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。(C(1)イ)	○言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。